

SDGs 体験型地域プログラム募集要項

～大阪・関西万博「ひょうごフィールドパビリオン」の展開にあたり～

【フィールドパビリオンの展開について】

1 趣意

持続可能でよりよい世界の実現に向け、世界共通の目標である SDGs の視点の重要性が増している。しかし、目標達成にあたっては自然災害や気候変動、急激に進む都市化など課題が山積している。

兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた。

「震災からの創造的復興」、「人と環境にやさしい循環型農業」、「豊饒な大地や海に育まれた食材」、「挑戦を繰り返してきた地場産業」、「郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた芸術文化」など、地域を豊かにする取り組みには、世界が持続可能な発展を遂げていくための多くのヒントが秘められている。

2025 年「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催される大阪・関西万博は、こうした兵庫の取り組みを国内外に伝える大きなチャンスである。

五国の「活動の現場そのもの（フィールド）」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開する。

交流を生み出す取り組みを通じて、兵庫各地域に住まう人々が、自らの取り組みを再評価し、次代を担う人材を育み、兵庫で暮らすこと、生きることの誇りへとつなげ、「躍動する兵庫」を切り拓いていく。

2 全体テーマ

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちの SDGs

【テーマについて】兵庫の「各地域」として、またフィールドパビリオンの「活動の現場」としての「フィールド」と、「いのち」や「未来」につながる意味を含んだ「SDGs」とを、「Our（私たちの）」で結びつけ、それぞれの立場の人が、自分ごととしてのゴールを模索し、次のステップにつなげていくメッセージを込めた。

3 展開にあたっての基本的な視点

- 21 世紀型国際博覧会に求められる人類共通の諸課題を解決するモデルを兵庫各地域の取り組み現場で示す。
 - SDGs の視点を重視し、未来志向型の成果を探求する。
- 地域団体や事業者の様々な取り組みの価値を地域の人々自身が世界に発信し、地域の誇りにつなげる。
 - 兵庫の地場産業、地域づくり、観光、伝統・歴史など、地域で培われたストーリーを組み込み、伝え、ひょうごを味わい尽くす体験ができる仕組みづくりを行う。
 - 兵庫の次代を担う子ども・若者が参加し、発信する仕組みを組み込む。
- 世界から兵庫各地域へ人の流れを生み、万博後も継続できる仕組みを確立するとともに、人々の兵庫への関りを増やしていく。
 - 2025 年の万博後も、経済性を含め将来的に継続される取り組みを中心に据える。
 - 2030 年の SDGs 達成にとどまらず、その先（+beyond）へつなげる。

【プログラムの募集について】

1 募集内容

ひょうごフィールドパビリオンの展開にあたって、SDGs を推進し、地域や社会の諸課題の解決に向けて、各地域で特色ある資源を生かした体験型・周遊滞在型プログラム、またはその素材となり得るプログラム（以下、「SDGs 体験型地域プログラム」という。）を募集します。

2 応募者（事業者、団体等）の要件

兵庫県内で SDGs を推進する体験型・周遊滞在型のプログラムを提供する方、または提供する可能性のある方であり、以下の要件を全て満たしていること。

なお、個人や単独での事業者や団体等のほか、複数の事業者や団体等でのグループも応募が可能です。

- (1) 兵庫県内に所在地を置くなど兵庫県内で活動している方、または兵庫県内で活動する可能性のある方であること
- (2) 万博終了後もプログラムを継続する意欲のある方であること
- (3) 兵庫県が実施する各種プロモーション等に協力していただけること
- (4) 経理体制が整っていること
- (5) 反社会的活動などを目的としていないこと
- (6) 兵庫県が設置する「ひょうごフィールドパビリオン」推進組織に参加できる方であること

3 認定方法

(1) プログラムの認定

応募いただいたプログラムは、ヒアリングや現地確認等の上、有識者による認定委員会で認定基準を満たしているか審議を行い、『SDGs 体験型地域プログラム』として認定します。

なお、応募時点で認定基準に到達していないプログラムであっても、『今後、より地域を豊かにする可能性』が高いと期待できるものは、認定基準を満たすために、兵庫県と協働してプログラムの磨き上げを行います。

<認定基準>

- ① ひょうごフィールドパビリオンの展開趣旨にふさわしいか。
 - (ア) 兵庫県内の各地域に根差したストーリーや稀少性、独自性など、ひょうごを味わい尽くせる内容であるか。
 - (イ) SDGs を推進するなど、地域や社会の諸課題を解決し、未来志向型の成果を探求する内容であるか。
 - (ウ) 事業の継続性や地域の持続可能性などが考慮されているか。

- ② 必要に応じ、プログラムのブラッシュアップや周辺他プログラムとの連携等の対応が可能か。
- ③ 社会通念上、懸念のある活動や団体への勧誘等を目的としていないか。

(2) プレミア・プログラムの選定

認定した SDGs 体験型地域プログラムのうち、特に『各地域の風土・文化との親和性』や『事業の持続可能性』の観点から、地域の核となると考えられるものをプレミア・プログラムとして選定します。

選定したプレミア・プログラムは、魅力向上やプロモーション等で「ひょうごフィールドパビリオン」のモデル的なプログラムとして活用を図ります。

プレミア・プログラムとして認定するものは、10 件程度を想定していますが、応募いただいたプログラムの内容によっては増減する場合があります。

(3) 認定等の取り消し

次の要件に該当する場合は、認定や選定を取り消す場合があります。

- ① 認定後または選定後に、募集要項に定める要件を満たさなくなった場合
- ② プログラムの継続が困難となった場合
- ③ プログラムの応募や実施等に当たり、各種法令等に違反した場合

4 認定プログラムに対する兵庫県の取り組み

(1) 誘客プログラムとしての魅力向上をお手伝いします。

(ア)必要に応じ、専門家等のアドバイザー派遣や講習会の開催、支援メニューの紹介や追加を検討します。

(イ)プログラム提供者間の連携の仲介、調整を行うほか、関係者によるパッケージングの提案などを紹介し、誘客に向けた魅力の向上を図ります。

(2) 積極的なプロモーションを実施します。

(ア)トップセールスで認定プログラムを紹介するなど、世界に向けて積極的にプロモーションを仕掛けていきます。

(イ)大阪・関西万博の兵庫県独自の展示スペース「兵庫棟」や web を活用した展示会場等で、積極的に認定プログラムの紹介や PR を行います。

(3) 各種国際行事での利用を促進するほか、プレツアーや兵庫県の実施するイベントなどで活用を図ります。

これらの取り組みは、今後「ひょうごフィールドパビリオン」アクションプランとして取りまとめます。(令和5年2月頃)

5 応募方法

(1) 強化募集期間

令和4年6月17日(金)～令和4年12月16日(金)

※上記期間後も、大阪・関西万博開催まで、随時、受付します。

(2) 提出書類

- ① SDGs 体験型地域プログラム応募書（様式第1号）
- ② プログラム概要説明書（様式第2号）
- ③ 応募者概要書（様式第3号）
- ④ 誓約書（様式第4号）

※複数の事業者や団体等でのグループで応募する場合は、全ての事業者や団体等が誓約書の内容を満たしていることを確認の上、代表者が提出してください。

(3) 質疑応答

プログラムの応募にかかる質問は、なるべく11月4日（金）までに下記問合せ先に記載のメールアドレスへお送りください。（様式第5号）

(4) 提出書類の提出方法

電子申請システム（強化期間中のみ）またはメール、郵送、持参のいずれかで提出ください。

電子申請システム：



URL：<https://bit.ly/3xxzLb5>

※メールで提出する場合は、必ず電話で受信確認してください。

※持参または郵送で提出する場合においても、DVD等で電子媒体によるデータを提出してください。

※持参される場合は、平日9:00～12:00、13:00～17:00の間に来庁ください。

(5) 認定通知

時期：強化募集期間の応募者は、令和5年2月末頃を予定。

強化募集期間終了後の応募者は、適宜通知します。

方法：応募者へメールで通知します。

(6) 著作権等

提出書類の著作権は応募者に帰属します。なお、提出書類の返却いたしません。

(7) 費用

応募にかかる費用は、恐れ入りますが、応募者側でご負担願います。

6 提出先・問合せ先

兵庫県企画部万博推進室万博推進課 佃、吉岡

住所：〒650 8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県庁2号館3階

Tel：078-341-7711（内4789） fax：078-362-3950

E-mail：banpakusuishin@pref.hyogo.lg.jp